

第2回3月11日知事メッセージ起草委員会 主な意見

○全体的な趣旨・構成について

- ・全体的に落ち着きすぎているかなという印象があるので、もう少し前向きな発信があってもいい。こんな福島をつくっていったらいいんじゃないかというようなメッセージがさらにあった方がいい。
- ・11年目のメッセージは、先の10年に向けて何をしていくか、というようなあたりを盛り込まなければならないことを考えると、今回のメッセージに10年目はさっとまとめておくという意図があるなら、それは理解する。
- ・このメッセージが元気と勇気を与えてくれるようになってくれればいい。
- ・県民の声の引用に10年というものがしっかりと表れている。
- ・私たち被災先進県としての経験に加え、コロナのことも交えながら、全国民と同じ立ち位置で、みんなでやっていきますか、というやわらかいメッセージのように感じた。
- ・震災のメッセージなのでコロナの方に偏りすぎないようにしていただきたい。
- ・知事メッセージの役割というのは、県内の人にとっても東日本大震災を思い出すタイミングになる。
- ・この10年間、我々がどんな思いで震災、原発事故、様々な逆境を乗り越えようとしてきたのか、何ができたのか、何ができなかったのか、こういったことを振り返ることがまず重要だと思う。

○入れ込むべき内容等について

- ・若い人がこんなに成長して活躍しているんだよというような、具体的なところを少し盛り込んでもいい。
- ・「さらなる孤独にさいなまれている」の部分、必ずしも孤独だけではなく、立ち上がれなくて生活が厳しくなっている母子家庭や引きこもってしまっている方など、力を上手く出せない方のことも一言二言入れてあげたい。
- ・子どもの将来というか、マイナスのものを絶対取り戻してあげるよみたいなニュアンスがあるといい。
- ・コロナについて、5行、6行くらいの文章で皆さんに分かっていただけるのがいい。
- ・国際教育研究拠点とか未来に向かって今やろうとしていることは発信してもいい。もっと進んでいる・進もうとしているというメッセージも必要だと思う。
- ・今のままでいいんですよと、多様でいいんじゃないかということ認めるような文章もいい。もっと迷って・困ってもいいから、10年後にこうありたいみたいな、

将来に希望が持てるような文章もあればいい。

- ・1段目のところは、これだけ大変だったんだよということをもう少し伝えることも大事かと思う。
- ・自分なりの発信がこれから大事なのかなと思う。これからは皆さん正直に声にしていきましょうという呼びかけもいい。
- ・10年前のもともとの母数があって、今はこの数字だよというものがほしい。
- ・5年後、10年後、20年後の未来に向かって、我々現役世代ももちろん頑張るのですが、次の世代、さらにその次の世代に対してどんな思いを残していくのかといったことも、入れることができればと思う。

○メッセージの表現等について

- ・「家族・友人との数えきれない別れ」について、やはり別れは数えきれしてほしいので「数えきれない」という表現はいらなないかと思う。
- ・「小学生」と「行方不明の搜索」というのは、おそらく「もう10年」「まだ10年」を象徴するような、対になるものかなと思うので、前の2つも対にする表現にしてはどうか。
- ・「原発事故が生んだ地域や家族の分断は癒やされないままに」という一つの文章が、全体として分かりにくい。
- ・「次の10年という新たなステージに進もうとしています」という客観的に見た感じを、「次の10年を新たに進めます」と主体的な文章に変えるだけでだいぶ前に進むかなという感じがする。
- ・「行き場のないやるせなさ、生き辛さ、疑念」の3つは、例えば、「悲しさ、切なさ、危うさ」と名詞化したもので繋いでいくことも大切なのかなと思う。
- ・「行き場のない」というところは「どうしようもない」、「抱えています」というのは「覚えています」、でもいいかなと思う。「緒に就いた」というところは、「ようやく歩み出した」のほうがいいかと思う。
- ・「これまで」のことだけではない、福島「いま」と「これから」を語っていかうではありませんか」のところは、テレビで毎日流れているフレーズに似ている。毎日流れていて耳が慣れているから使ったほうがいいのか、それとも別なものがあるのか。
- ・「伝えていかなければなりません」ではなくて「伝えましょう」というようなちょっと強い言葉で、思い出しましょうと言え、みんなの想いが一つになって風化にはつながらないと思う。
- ・「他方で、行方不明になった方の搜索は続けられており」の部分、10年経って行方不明になったように読めてしまうので、「行方不明のままの方」ではないかと思う。

○メッセージの発信について

- ・今回の知事メッセージとは別の形で、知事の思いを広く発信してほしい。
- ・紙面とかの媒体で見るときに、あまりよく福島のことを分かっていない人にも、段落毎に解説みたいなものがあると、このメッセージが伝えたいことが分かりやすくっていいんじゃないかなと思う。
- ・メッセージをきちんと発信できる、目立つようにしてほしい。
- ・人の受け止め方の違いというのがすごく明らかになってきた10年かと思う。今後我々がもっと抱えていかなければならない重い課題は、風評と風化であり、風評も困りますが、また11年、12年と年が経るごとに風化が加速して、無関心になっていってしまうということが、我々にとって重く辛いことだと思う。やはり、県民の皆さん一人一人が2021年コロナ禍において、自分なりに何らかを発信していくということが重要だと思います。